



か け は し

1月

札幌市東区生活支援体制整備事業 広報誌



東区くらしのサポーター養成講座

入門きっかけコース、実践しっかりコースが開催されました！！

少子高齢化が進む近年、独居高齢者や子育ての問題など地域の福祉ニーズは多様化しています。この講座は、地域における住民主体の助け合いの担い手を養成することを目的として令和4年10月から12月にかけて開催、地域住民による「支え合い活動」について学びを深めていきました。

(区内3会場にて全11回開催。のべ参加人数は140人)

※「東区くらしのサポーター」とは、札幌市東区において日常生活のちょっとした困りごとを手助けしてくれる方、地域づくりを一緒に進めてくれる方のことです。

講座では、生活支援コーディネーターをはじめ関係機関(区保健師、地域包括支援センター、介護予防センター)職員が講師となり、講義や演習だけではなくお楽しみレクや体操等も併せて体験していただきました。

回を重ねるごとに、顔見知りが増え関係性が深まり、たくさんの笑顔や笑い声が響くほど盛り上がりました！

今後目指す姿は「助けつつ助けられる、つながりのある地域づくり」です。日常のちょっとした「困った」を助け合うお互い様の活動とはどんなことなのか考えていく中で、「自分のできることでサポートするよ」「またみんなと学びたい」との声も。くらしのサポーターとしての活躍が楽しみです。



入門編 栄西地区会場



入門編 札苗地区会場



実践編 区民センター会場

サポーター活動は、健康づくりと社会参加の第一歩！是非あなたの力を地域で活かしてみませんか？



支えつつ支えられる地域づくりを目指して

栄東地区

昨年度より、栄東地区の道営住宅栄町団地のみなさま、北海道住宅管理公社（札幌中央支所）様、関係機関（区保健福祉部、地域包括支援センター、介護予防センター、東区社会福祉協議会）が集まり「栄町団地で安心して暮らすために」というテーマで意見交換会を継続して行っています。今回は団地の支え合いと困りごとの現状をアンケート調査で把握し、その結果を参加者同士で共有、さらにその調査結果から気づいたことや感想などを話し合っていました。

現在困っていること、今後困るであろうことの事前調査では、**不用品の処分、重い物の移動、買い物の付き添い・代行**という回答が多く、会議では除雪の課題についても意見が出ていました。介護保険等の公的サービスだけでは解決できない課題も多く、既存のサービスとの組み合わせや負担のない範囲での助け合いが重要になってきます。

今後もこういった話し合いを重ね、支え合いの地域づくり・しくみづくりを地域のみなさまと一緒に考えすすめていきたいと考えています。

アンケート



新しい取り組みを紹介します♪



栄ヶ丘会館（北 36 条東 21 丁目）を活用した地域カフェと、その駐車場を利用した移動販売会が開催され大変な賑わいを見せました。（現在、この取り組みは終了しています）

栄ヶ丘地域連携創造倶楽部、町内会など地域にお住いのみなさんが、企画・運営。カフェでは「元氣だったかい?」「しばらくだったね」などご近所さん同士のたくさんの笑顔がありました。駐車場では生鮮食品や野菜、果物などたくさんの商品が並び、あれこれ悩まれる姿が。1 時間余りの販売時間でしたが「町内で買い物出来てよかった。」「夕飯のおかずを買ったよ」など嬉しそうな声も聞きました。11 月限定の取り組みでしたが、今後の新たな企画が楽しみです。

発行・お問い合わせ先

札幌市東区社会福祉協議会

電話 011-741-6440

〒065-8612 札幌市東区北 1 1 条東 7 丁目 1-1 東区民センター1 階

第 2 層生活支援コーディネーター

熊谷（栄西、栄東、丘珠地区担当）

